

第 3 回幹事会開催報告

1) 第 3 回幹事会開催概要

開催日：令和 2 年 2 月 5 日（水）15：00～17：00

開催場所：糸満市役所 4 階土地開発公社会議室、糸満市役所 3-C 会議室（講話会場）

参加者：末尾参加名簿参照

2) 協議のポイント

報告事項（3）糸満市地域公共交通網形成計画（案）について

審議事項（1）パブリックコメントの内容について

（パブリックコメントについて）

- 第3回委員会での指摘を受け、計画が市民に伝わるように概要版を作成した（パブコメで公開）
- 今回策定する網形成計画は地域公共交通のあり方を示す「マスタープラン」であり、具体的な行動計画は「アクションプラン」で定めることを体系図として整理した
- 本日（幹事会開催日 2/5）までにパブリックコメントは来ていない

（計画内容について）

- 現在はマスタープランを立てている段階であり、どの路線をだれが、どうやって運行するか等の具体的な計画は、次の段階のアクションプランで議論する
- 西崎地区にも明確に公共交通の利便が高い公共交通拠点を位置づけ、将来ネットワーク図に表記してはどうか

（計画スケジュールについて）

- 計画のスケジュールのポイントは 2 つで、一つ目は令和 3 年（現在運行している「地域観光交通（いとちゃん mini）」の試験運行期間が令和 3 年で終了となるため、その後の具体的な計画を令和 2 年度に検討し、1 回目の再編を令和 3 年に実施したいと考えている）、二つ目は令和 6 年の新交通ターミナルの開業のタイミング

（アクションプラン検討時の留意点）

- 拠点集落と交通ターミナルの連携や接続はアクションプランで具体的に検討する必要がある
- 拠点集落の整備は、バスが乗れるだけの場所ではなく、自転車や車との接続を考え、人が集まれる仕組みを検討する必要がある

（計画推進時の留意点）

- 計画の目標達成のためには、庁内、事業者、市民の協力が必要不可欠である
- 計画策定以降も全体像がずれていないか、達成度はどうかな等を、計画を作って終わりではなく、みんなで見て行く仕組みづくりが必要である
- 計画を実現されるためには、計画の推進力となるような仕掛け、取り組み（市職員や市民向けの講演会等）が重要である

3) 議事録

報告事項（１）第２回幹事会報告

報告事項（２）第３回地域公共交通会議報告

【島田幹事長】令和元年度第２回幹事会と糸満市地域公共交通会議令和元年度第３回会議の議事内容について、質問や疑問点等はあるか。

【委員一同】異議無し。

報告事項（３）糸満市地域公共交通網形成計画（案）について

審議事項（１）パブリックコメントの内容について

【島田幹事長】本日までにパブリックコメントは出てきているのか。

【事務局】まだ来ていない。

【島田幹事長】第３回地域公共交通会議において、大城委員長は網形成計画について体系的に全体像を示すように言われている印象があったが、事務局はどう思われたか。

【事務局】資料４に示しているとおり、網形成計画を体系的にまとめた概要版を作成した。

【事務局】また、今回の計画がどのような性格をもっているかを整理するために、資料３の２Ｐに国の動向、上位計画、都市マスタープラン、地域公共交通のあり方をまとめている。今回策定する網形成計画は地域公共交通のあり方を示す「マスタープラン」であり、具体的な行動計画は「アクションプラン」で定めることを体系図として整理した。

【島田幹事長】計画のスケジュールのポイントが、令和３年と令和６年の２回あるとの説明があった。令和６年は新交通ターミナルの開業のタイミングということであったが、令和３年というのはどのような理由か。

【事務局】現在運行している「地域観光交通（いとちゃん mini）」の試験運行期間が令和３年で終了となる。その後の具体的な計画を令和２年度１年かけて検討し、１回目の再編を令和３年に実施したいと考えている。

【島田幹事長】網形成計画の全体像や指標、個別計画について委員の意見を伺いたい。

【玉城勲委員】以前は各集落に JA があり、JA が集落の中心となっていたが、現在はスーパーも無い状態である。拠点集落の整備について、より具体的に考えていく必要があると思う。

道の駅では日産自動車よりカーシェアリングの話も来ているが、道の駅自体は国の施設であるため収益事業ができない。ファーマーズの敷地に駐機する案もあるが、観光協会から距離があるため、管理が難しく課題がある状態である。

また、糸満市から那覇空港直行バスを通したいと検討している事業者の件について、既存バスとの連携等、考え方を入れておく必要があるのではないか。

【島田幹事長】路線バスの参入については、現在、新規参入の規制を強める動き（国として）がある。新規参入するためには、自治体の了解を取ることが必要になるようである。

【玉城和江委員】この計画だけみると、高齢者の方は、これまでより移動しづらくなると感じた。今

後はいとちゃん mini の利用が増えてくると思われる。高齢者に対する具体的な策が見えづらい。

【山内委員】社会福祉課では障がい者の移動サービスを行っているが、将来的に連動出来れば良いと思っている。

【島田幹事長】経済と福祉の両方の視点を大切に、計画を推進して頂きたい。

【上原一志委員】パブリックコメントが全くないというのは残念である。委員である我々は理解していても、内容が住民に伝わっているかはわからない。

また、商工の立場からすると企業調査の結果は残念であった。糸満市の課題として、交通弱者に対する支援も重要と思うが、もう少し商業や観光の視点も入れた方が良いのではないかな。

将来ネットワーク図では、小学校が位置している地区を「拠点集落」として公共交通拠点を位置付けているが、西崎地区や工業団地も何らかの形で公共交通拠点としての機能を位置付ける必要があるのではないかな。そうすることで、企業側に対しても、公共交通利用を促すことができる。

【事務局】計画案 P63 将来ネットワーク図で、西崎地区も含めて中心市街地として位置付けている。

【島田幹事長】西崎地区にも明確に公共交通の利便が高い公共交通拠点を位置づけ、将来ネットワーク図に表記してはどうか。直ぐに答えは出ないと思うが、事務局で検討して頂きたい。

【兼城委員】空港に直接アクセスできる公共交通の導入が事業で示されているが、具体的に決まっているのか

【事務局】第3回委員会でバス協会から情報提供もあったが、民間のバス会社さんが早めに走らせたかと考えていると聞いている。

【兼城委員】空港とホテルを結ぶ直行バスが観光には必要であると思う。

【島田幹事長】空港直行バスは北谷町や恩納村のホテルも実施しているため、糸満市でも、今後、具体的に検討してもらいたい。資料中で計画に示されているのか。

【事務局】資料3のP80に「空港に直接アクセスできる公共交通の検討」として位置付けている。

【島田幹事長】名城ホテルはいつごろオープン予定か。

【事務局】令和4年8月の完成予定である。

【島田幹事長】大きいニーズが出てくるはずなので、具体的な計画実施の際は、十分に連携した方がよい。

【金城委員】子供たちが通学に使える公共交通に関して、イメージが見えないがどうなっているのか。

【事務局】令和3年10月の再編の際、通学に利用できる路線等を導入できるよう、次年度検討していきたい。

【事務局】資料3の2Pに示しているが、現在はマスタープランを立てている段階であり、どの路線をだれが、どうやって運行するか等の具体的な計画は、次の段階のアクションプランで議論するという理解を頂きたい。今回策定する計画は、後々アクションプランを検討する際の柱となる。

なお、具体的なアクションプランは、次年度以降、検討する予定である。

【賀数委員】都市マスタープラン所管課として確認したが、都市マスタープランと連動した計画となっていると理解できる。拠点集落と交通ターミナルの連携や接続はアクションプランで具体的に検討する必要があると思う。

【オブザーバー:上江洲】糸満市の公共交通マスタープランを位置付けようとしていると理解できる。拠点集落の整備は、バスが乗れるだけの場所ではなく、自転車や車との接続を考え、人が集まれる仕組みを検討する必要がある。

また、中心市街地の公共交通拠点として市場あたりに拠点が落ちているが、西崎地区にも拠点的な位置付けが必要ではないかと思う。西崎の工業団地の件も含めて検討できないか。

【上原副幹事長】路線バスの補助を担当している部署として、公共交通利用者が減少している現状に対して、目標として利用者を増やさなければならないと感じている。

また、いとちゃん mini 及びブーゲンビレア号を持続可能なものにするために、検討していきたい。

【事務局】各委員から意見が出たが、今後アクションプランにも反映させて行きたい。この計画の目標達成のためには、庁内、事業者、市民の協力が必要不可欠である。

計画策定以降も全体像がずれていないか、達成度はどうか等を確認する際には、ぜひ皆さまの協力を頂きたい。

【島田幹事長】この計画は公共交通のマスタープランとなるので、全体像がずれていないか、計画を実際に推進するこの皆さまで責任をもって確認してもらいたい。計画を作って終わりではなく、みんなで見て行く仕組みづくりが必要である。みんなで令和6年度まで見届けたい。

私からの提言としては、計画を実現されるためには、計画の推進力となるような仕掛け、取り組みが重要であることを申したい。当幹事会での議論に加え、この後実施する運輸部企画室長を招いた講演会もその一つである。次回の公共交通会議において、市民の意識が醸成できる講演会等の開催を提案したいと考えている。

また、次年度も幹事会が継続されるのであれば、先進事例視察に行きたい。南城市や沖縄市、北中城村等の取り組みを実際に体験して知見を深め、この計画を進める推進力にしていきたい。



▲ 会議開催状況



▲ 講演会開催状況

日本語English簡体中文繁體中文한국어españolportuguês


Itoman City
糸満市

文字サイズ | 小 | 中 | 大 | 背景色 | 黒 | 青 | 白 | ふりがなをつける | 音声読み上げ | サイトマップ

検索

トップ

いとまん観光ナビ

事業者の方へ

行政情報

TOP > 組織 > 秘書広報課
TOP > 分野 > とれたて糸レボ, お知らせ

いいね! 0

未来の公共交通を考える。交通講演会

2020年2月12日

令和元年度策定予定の「地域公共交通網形成計画」に対する関心を高めてもらおうと、糸満市地域公共交通会議幹事会（島田勝也幹事長）が2月5日、沖縄総合事務局運輸部企画室長の三宅亮さんによる講演会「利便性が高く持続可能な地域交通の実現に向けて」を市役所で開きました。

講演会には同幹事会の役員や市職員約40人が参加。三宅さんは「国の公共交通政策の動向」「沖縄の現状と展望」「利便性が高く持続可能な地域交通に向けて」について話した後、参加者からの質問を受け、活発な意見交換を行いました。

※関連記事(クリックすると該当ページに飛びます)「糸満市の公共交通の取り組み」

この記事について詳しくは政策推進課(840-8122)まで。



お問い合わせ

秘書広報課
広報広聴担当
電話：098-840-8118

戻る

このサイトについて | プライバシーポリシー | 著作権について | 免責事項

▲ 講演会の開催状況を市ホームページに掲載

■糸満市地域公共交通会議委員 名簿

		シメイ 氏名	区分	所属	役職	備考
1	幹事長	シマダ カツヤ 島田 勝也	学識経験者	沖縄大学地域研究所	特別研究員	
2	副幹事長	ウエハラ ヒトシ 上原 斉	地方公共団体	糸満市市民健康部市民生活環境課	課長	
3		タマシロ イサオ 玉城 勲	観光関係者	糸満市観光協会	事務局長	
4		シマブクロ ユウブン 島袋 雄文	福祉関係者	糸満市社会福祉協議会	事務局長	欠席
5		ウエハラ カズシ 上原 一志	産業関係者	糸満市商工会	事務局長	
6		タマシロ カズエ 玉城 和枝	地方公共団体	糸満市福祉部介護長寿課	課長	
7		ヤマウチ マサナオ 山内 昌直	地方公共団体	糸満市社会福祉部社会福祉課	課長	
8		カザズ ヤスヒロ 賀数 康広	地方公共団体	糸満市建設部都市計画課	課長	
9		カネシロ ヒロヤス 兼城 浩康	地方公共団体	糸満市経済観光部商工観光課	課長	
10		キンジョウ シゲル 金城 秀	地方公共団体	糸満市教育委員会総務部総務課	課長	

事務局

1	徳元 弘明	糸満市企画開発部 部長
2	新垣 行則	糸満市企画開発部 政策推進課 課長
3	大嶺 哲也	糸満市企画開発部 政策推進課 係長
4	新垣 祐滋	糸満市企画開発部 政策推進課
5	玉城 喜章	沖縄しまたて協会
6	上間 淳也	沖縄しまたて協会
7	豊里 博輝	沖縄しまたて協会
8	仲宗根 安弘	沖縄しまたて協会
	計 8 名	

オブザーバー

1	上江洲 安俊	糸満市建設部 政策参与
	計 1 名	